

信濃川水系

北信圏域河川整備計画

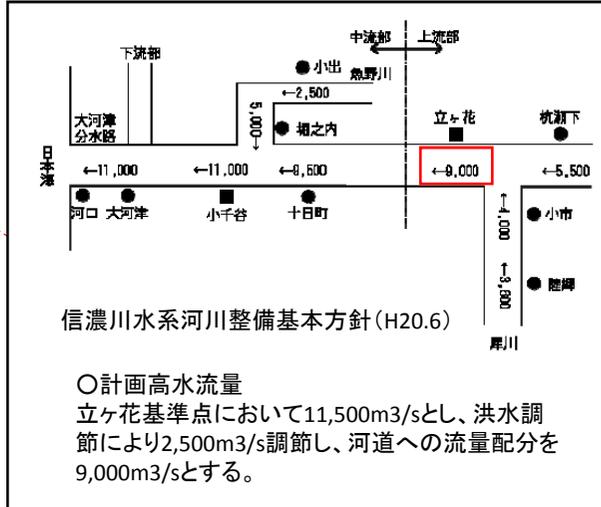
(変更原案)

概要版

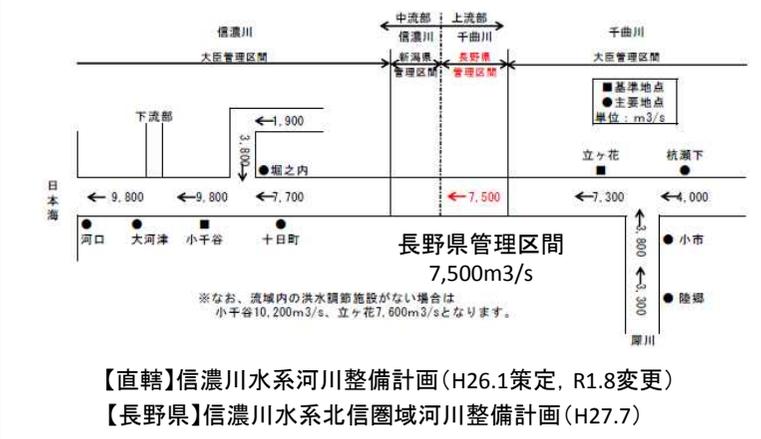
令和3年9月

長野県

■信濃川水系北信圏域の概要



【河川整備計画における千曲川本川の目標】
S58.9洪水と同規模の洪水が発生しても、堤防の決壊・越水等による家屋の浸水被害の防止又は軽減を図る。



圏域内の市町村

いよいよ	飯山市
なかのし	中野市
すざかし	須坂市
かみたかいくん	おぶせまち
上高井郡	小布施町
上高井郡	高山村
しもたかいくん	やまのうちまち
下高井郡	山ノ内町
下高井郡	きじまだらむら
下高井郡	木島平村
下高井郡	のざわおんせんむら
下高井郡	野沢温泉村
しもみのちぐん	さかえむら
下水内郡	栄村



■ 今回の主な変更点

令和元年東日本台風により堤防が決壊し、甚大な内水被害が発生した、皿川(飯山市)の対策を整備対象に位置付ける



■ 令和元年東日本台風における皿川の被害状況

浸水家屋(戸)			浸水面積 (ha)
半壊	床上	床下	
169	95	378	59.1

※水害統計調査



千曲川合流点



決壊地点



浸水範囲(飯山市街地)

■ 皿川の状況



上流部の山地を流れる皿川(約13.0km)



中流部の田畑を流れる皿川(約2.5km)

四ツ屋地区の桜堤



下流部の市街地を流れる皿川(約0.1km)

■ 皿川に係る主な追記事項

[皿川の現状と課題]

昭和58年9月の洪水では、千曲川本川において甚大な被害が発生し、当時、千曲川との合流部が自己流堤防であった皿川では、千曲川の背水により浸水被害が発生しました。この被害を受け、合流点には千曲川本川の堤防整備と併せて皿川樋門が設けられ、背水区間にはセミバック堤が整備されましたが、令和元年東日本台風では、千曲川本川の水位上昇に伴い、皿川において越水・破堤による内水氾濫が発生し、飯山市街地の広範囲で浸水被害が発生しました。

このような内水被害を防止するため、早急に内水対策に取り組む必要があります。



令和元年10月洪水 飯山市街地浸水状況(本文P15)

[洪水による災害の発生の防止又は軽減に関する目標]

皿川では、沿川の人口や資産の集積状況、他河川の改修事業とのバランス等を考慮し、30年に1回程度の確率で発生すると予想される降雨により生ずる洪水を安全に流下させることのできる治水安全度を確保していますが、令和元年東日本台風では大規模な内水被害が発生したため、千曲川本川との合流点から上流約600m区間の堤防整備を実施し、同規模の洪水に対し、内水による浸水被害を防止することを目標とします。

河川名	施工の場所			河川整備の種類	機能の概要
	地先	左右岸区分	区間		
千曲川	栄村箕作地先～栄村月岡地先	右岸	6.6k～7.4k付近	築堤等	流下能力を向上させる
千曲川	野沢温泉村東大滝地先	右岸	12.0k～12.5k付近	築堤等	
千曲川	飯山市照岡地先～飯山市馬場地先	左岸	15.1k～17.7k付近	築堤等	
千曲川	飯山市下境地先	左岸	19.8k～20.5k付近	築堤等	
皿川	飯山市飯山市ノ口地先～飯山市飯山有尾	両岸	0.04k～0.6k付近	築堤等	内水被害防止・軽減

追加



整備実施箇所(本文P29)

[河川工事の目的(皿川に関する事項)]

千曲川の水位上昇により、自然排水が困難となり、皿川からの越水・溢水により内水被害が発生した地域において、築堤の整備による内水対策を実施します。

なお、整備の実施にあたっては、千曲川の改修と連携を図りながら整備を進めていきます。

また、整備にあたっては河川環境の保全及び生物の生息・生育・繁殖地の保全・再生に努めます。

■その他(主な変更点)(第1章・第4章)

※令和元年東日本台風対応の千曲川の長野県管理区間の整備目標の変更については、国管理区間が検討中であるため、国管理区間の変更と併せて対応する。

第1章 第1節 対象圏域の概要

数値の更新 ⇒ (気候)、(土地利用)、(人口・産業経済)、(風土・文化)、(自然環境)

第1章 第2節 圏域内の河川の現状と課題

[千曲川の現状と課題]

令和元年東日本台風では、千曲川の各水位観測所で計画高水位を超過し、観測史上最高水位を記録しました。この洪水により千曲の長野市穂保地先では堤防が決壊し、その他にも広域にわたって堤防の越水氾濫や内水氾濫による家屋の浸水、河岸浸食による建物の流失など、流域の全域に甚大な被害をもたらしました。



出典：国土交通省 HP

千曲川の長野県管理区間においては、…、また、令和元年東日本台風では、千曲川沿川の市町村で避難勧告・避難指示が発令され、栄村月岡地先や野沢温泉村平林地先では越水等による浸水被害が発生しました。

(信濃川水系緊急治水対策プロジェクトについて追記)

近年、全国各地で大規模な豪雨災害が相次いで発生している中、令和元年東日本台風では、信濃川水系全域で甚大な洪水被害が発生したことから、国、県、市町村が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を策定し、河川における対策のみならず、雨水貯留等の「流域における対策」や減災に向けた「まちづくり、ソフト施策」も一体となった取り組みを緊急的に推進することとされています。

千曲川の長野県管理区間においても、水系一貫となって、災害防止・被害最小化を図る観点から、上下流、本支川バランスを確保し、大臣管理区間や下流の新潟県と連携を図りつつ、水系全体として緊急的かつ段階的に治水安全度の向上を図る必要があります。

第4章 第1節 河川情報の提供に関する事項

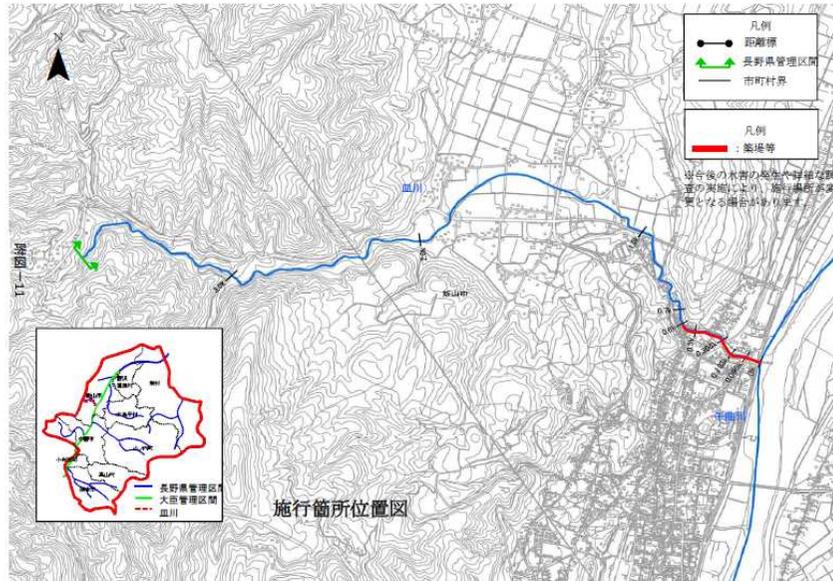
- ・タイムラインについて追加
- ・危機管理型水位計、河川監視カメラについて追記
- ・防災学習や出前講座等について追記



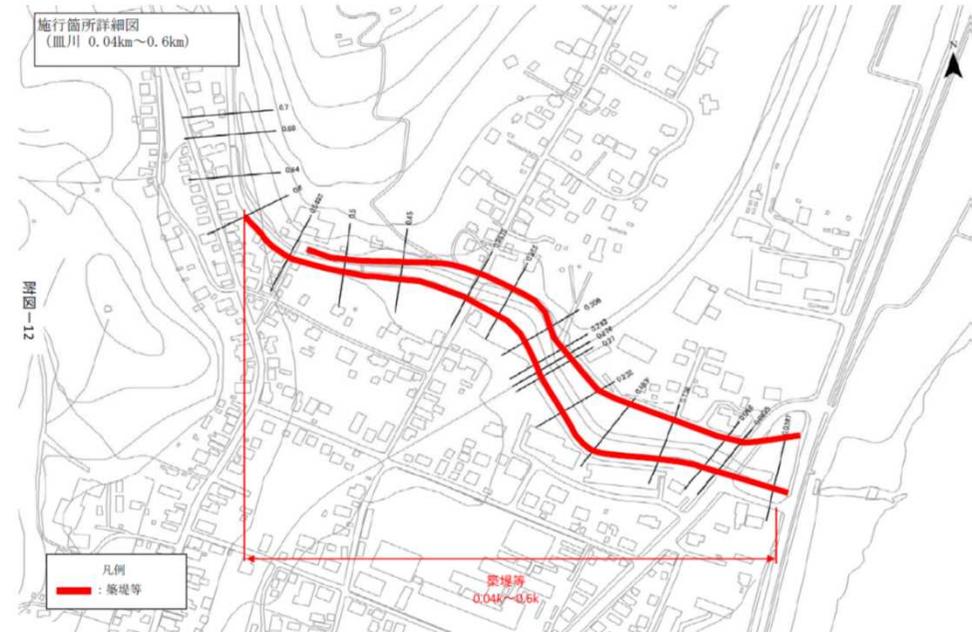
第4章 第2節 地域や関係機関との連携等に関する事項

- ・まちづくりと連携した河川整備に関する事項について追記
- ・水防災意識社会再構築ビジョンの策定について追記
- ・「流域治水」の取り組みについて追記

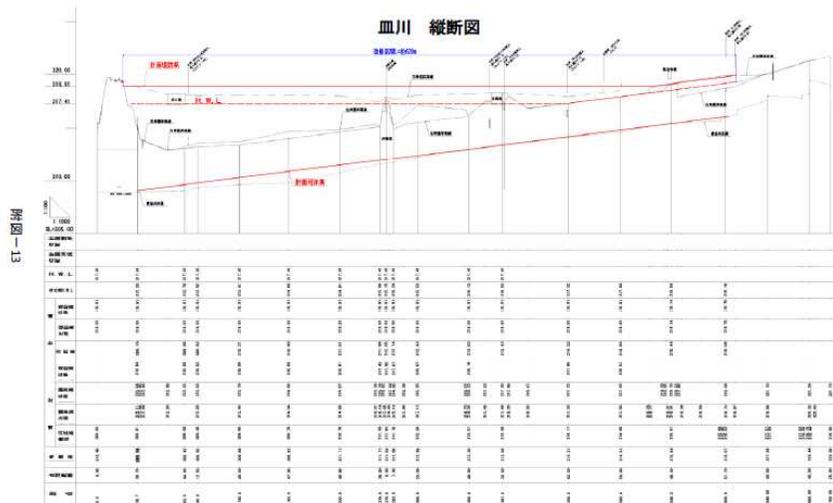
■今回追加となる附図(皿川)



附図-11 施工箇所位置図



附図-12 施工箇所詳細図



附図-13 縦断面図



附図-14 主要地点横断面図